



木曜会
むらかみ りゅういち
村上 隆一



～尾道市立市民病院の今後について～

議員 厳しい経営状況を考慮し、市民病院建設に関係する予算計上は見送られた。市民の方から、「建設するのか」、「建設しないのか」、「今後どのようにするのか」と、様々なご意見を伺う。まずは、経営の安定化を目指されるということだが、何をもって経営の安定化なのか。

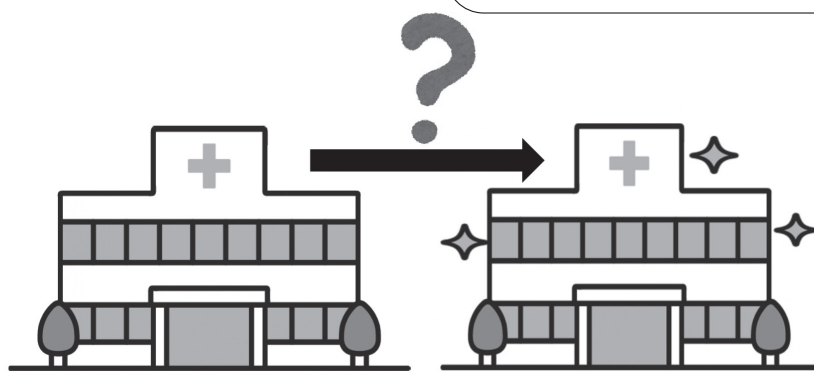
病院事業管理者 今年度の収支状況を見極めることが一定の判断となる。

議員 市民の命や地域の医療を守るためには、医療連携がまずは重要であると考えている。建物の老朽化や狭あい化といった古いから建て替えではなく、しっかりと医療連携を含めた様々な協議をすることが必要ではないか。今一度立ちどまり、ゼロベースで市民が納得されるようなグランドデザインを打ち出していく必要があると考えているがいかがか。

市長 グランドデザインの一つとして災害拠点病院を目指していく。

一般質問を終えて…

どのようにして市民の命を守ろうとしていくのか疑問である。引き続き、追求していきたい。



木曜会
なかし かいと
中西 海斗



災害協定の拡充について

議員 今後さらに協定店舗が拡大されれば、供給体制の分散化や輸送効率の向上に資するとともに、災害初期の「プッシュ型支援」に加え、時間の経過とともに避難所ごとの多様なニーズに対応する「プル型支援」の充実にもつながると考えるが、市の方針はどうか。

市長 事業者ごとに個別の事情があるので、調整には丁寧に対応してまいりたい。その上で、市内の小売事業者とも連携し、災害協定の拡充に向けて取り組んでまいりたい。

地域防災力の強化について

議員 地域への補助金の増額も重要であるが、今後の地域防災を担うのは私たち30代・40代の若い世代である。しかし、仕事や家庭の都合で地域の会合などに参加しにくいという声も多く聞かれる。

例えば、LINE WORKSなどオンラインツールを活用した情報共有の仕組みを整備し、それを補助金の対象とすることも一案ではないかと考える。

市長 地域への補助金については現時点で増額の予定はないが、若年層の地域コミュニティへの参加や防災力の強化に向けて、防災ラジオなど、情報が取得しやすい環境の整備に取り組んでいる。

議員 これでは、若年層の参加が本当に促されるのか疑問である。若い世代が参加しやすい仕組みを支援することは、今後の地域防災を持続させるために欠かせない。

また、災害協定を実際に機能させるためには、地域の防災組織が市の防災施策に“深く関わる”ことが不可欠である。

こうしたことから、地域が当事者として、物資の搬送や避難所運営の一端を担う体制を平時から構築できる仕組みをはじめ、市・事業者・地域の三者が協議し、“地域が主体的に防災の輪に加わる仕組み”を構築していくことが重要だと考える。



市民連合
まつばら せいじ
松原 正侍



わがまち♡スポーツ「尾道海属」について

議員 「尾道海属」における3年間の実績や成果は。

市長 民間事業者と連携し、多世代を対象にしたマリンスポーツをはじめ、体験イベント、安全講習、海浜清掃などを行い、関連施設などの利用は令和4年度の約23万人から令和6年度で約30万人と約33%増加した。

議員 今年度大幅な予算減額であるが、今年度の具体的な計画は。

市長 民間企業とタイアップした団体が主催するイベントの開催や、更なる「尾道海属」の推進のため、マリンスポーツの聖地をめざすことのみならず、海事産業などの振興にもつながっていき尾道の魅力を高めてまいりたい。

学校給食について

議員 稼働を開始した「因島学校給食共同調

理場」の状況と「旧因島学校給食共同調理場跡地」の今後の方針は。

教育長 順調に稼働しており、児童生徒に温かくおいしい給食を提供している。また、「旧因島学校給食共同調理場跡地」については売却処分の方針である。

議員 「(仮称)尾道地区学校給食共同調理場」の進捗状況は。

教育長 令和8年度からの稼働に向け、おおむね計画通りに行われている。

議員 学校側の環境整備や体制整備の進め方は。

教育長 現在調整中であり、学校を確定した上で学校側の受け入れ体制の整備を行っていく。衛生管理のさらなる徹底を図り、安全・安心で温かくおいしい給食の提供をめざす。

議員 学校給食に係る公会計の状況は。

教育長 口座振替による納付を推奨する中で、現在9割を超える申し込みがあり、ご理解いただいているものと考えている。また公会計化に伴い、システムの導入などによる事務の効率化を図り、適切な業務運営に努めている。



市民連合
やまね もとつぐ
山根 基嗣



「教職員の働き方改革」への対策を求める

議員 令和8年に時間外勤務時間が45時間以下である教職員の目標値を100%にするための具体的な取組は。

【参考】学校経営企画課から情報提供

令和6年度末 定年前辞職者数(小中合わせて)
※定年前辞職者28名全体(42名)の67%。

・51歳～60歳…11名 ・41歳～50歳…2名
・31歳～40歳…4名 ・30歳以下…11名

教育長 部活動の時間の繰り上げや、標準授業時間数を意識した教育活動に取り組み、学校全体の長時間勤務の縮減に努める。

町内会活動費補助金格差是正を求める

議員 一世帯当たりの補助金額は、①旧尾道 444円 ②御調 1,758円 ③向島 1,264円 ④因島 833円 ⑤瀬戸田 1,805円。特に旧

尾道の補助金額の格差は他地区と比較しても大きく是正が必要であるが、どのように考えているか。

市長 地域の実情をしっかりと伺いながら、補助金のあり方を考える。

民生児童委員活動の改善を求める

議員 民生児童委員の高齢化と「なり手不足」「オーバーワーク」への対策は。

「尾道市一人暮らし高齢者巡回相談事業実施要領」は52年前の作成であって、実情に合っていないことを指摘する。

市長 改選や欠員の補充については、地域に出向き、活動への協力を得られるよう努める。業務量については、巡回相談で対象世帯が多い場合、過度の負担にならないよう対応する。

人権条例制定を求める

議員 人権啓発推進プランと共に地域の実情に根ざした市民参加型の「尾道市人権尊重条例」制定に向けた取組は。

市長 人権尊重条例の制定については、人権啓発推進プランの取組を進めていく中で、引き続き研究していく。



潮風おのみち
いしもり けいし
石森 啓司



人口減少化を迎える 「尾道みなと小中学校」の在り方について

議員 物価・人件費高騰の煽りを受け、建設費はこれで足りるのか。

教育長 資材費や人件費の高騰などにより、新校舎建築費の最終的な想定は困難であるが、今後とも事業費縮減に向けて取り組んでいく。

議員 プールを利用した授業は各学年10時間と聞いているが、1年間で利用するのが45時間。尾道みなと小学校も屋上にプールを設置することだが、1階に造る場合による費用と4階に造る場合による費用の差額提示を求めても答弁がないのはなぜか。

教育長 事業費の比較については詳細な設計や地盤調査が必要となり経費と時間を伴うことから比較は行っていない。校舎屋上にプールを設置することで、グラウンド面積を広く確保し、子どもたちによりよい教育環境を整えることがで

きることから、計画どおり事業を進めていく。

議員 尾道みなと小中学校建設費を61億円から68億円に増額されたが、尾道市の財政状況・今後の児童生徒の減少をどのように考えているか。

教室の広さについて国が推進する60㎡ではなく80㎡にする方針とのことであるが、子どもにとって良い環境を構築できるというその考えを伺う。

教育長 将来的な学級数の増減を見据えた上で、普通教室を特別支援教室や専科教室、放課後児童クラブへの転用を想定している。

議員 新校舎を造って空いた旧学校の今後の利活用について、教育委員会で考えられないのであれば、もっと広く世間に問えばよいのではないか。

市民の財産ということを忘れずに、市民の意見を聞くとともに有効に活用していただけないか。

教育長 旧久保小学校、旧長江小学校、旧土堂小学校の今後の活用については、現時点ではお示しできない。



潮風おのみち
かむり まさてる
冠 匡晃



尾道市の教育について

議員 英語偏重教育の問題を検討したか？

教育長 問題ない。

議員 日常会話や校長の挨拶、授業までも英語では、まるで植民地。まもなく自動翻訳で各国が母語のまま通じ合える時代が来る。今こそ英語より自国の歴史と文化を学び、誇りを持って異文化と対話し、議論できる力を育むべき。

図書館の蔵書の偏り

議員 コロナワクチンを推奨する本ばかりで、副作用を警告するものはベストセラーすら置いていない。近隣の市と比べても著しい偏り。

教育長 たまたまそうなった。

議員 市民の知る権利を制限する浅はかな姿

勢は反省すべき。

子宮頸がんワクチンの推奨について

議員 子宮頸がんワクチンは1万人に7人が重篤な副反応とされるが本当か。

市長 分からない。調べてもいない。

議員 子宮頸がんは2年ごとの検診だけで防げる。なぜ検診をPRせず、癌も防げず副作用の多い馬鹿げたワクチンを進めるのか。メーカーも度重なる不祥事のある不誠実な企業。何も調べず市民に進めるべきではない。

コロナワクチン事業について

議員 尾道市のコロナワクチン事業では6人の死者を含む多数の重篤被害者が出た。予防効果もなく若者には不要とされるものを、市長が若者にも接種を求め被害者を出した責任は。

市長 国が対応すること。



潮風おのみち
むらい あつこ
村井 温子



学校給食を「まちづくり」の施策

議員 尾道市では学校給食の地産地消率（市内産）15%を目標に掲げているが、R5年度に7%台まで低下し、目標達成が危ぶまれる状況。食材価格の高騰や生産者の高齢化など複合的な課題に直面する中、学校給食は単なる教育の一環ではなく、一次産業、環境、地域経済、福祉を支える社会インフラとして再定義し、持続可能な地域づくりの柱とすべき。R6年度学校給食の地産地消率は？課題と目標達成のための取組は。

教育長 7.4%。生産者が生産中止や規模を縮小したため。市長部局とも連携しながら目標達成に向けて取り組む。

議員 地産地消コーディネーター、学校給食協議会の設置をしては？

教育長 現在までの取組を充実させていくことが大切であるから新たな体制は考えていない。

議員 先進事例では、ふるさと納税の活用や環境保全型農業との連携が進められている。尾道市においても学校給食を軸とし、ふるさと納税を活用した包括的な「食とまちづくり」プロジェクトの構築を提案する。

教育長 ふるさと納税は情報収集する。プロジェクトは考えてない。

議員 R6年度は御調産のお米100%も達成できず残念。尾道の米どころを守るプライドと、尾道のこども達の食を守る具体的な取組を求める。

不登校支援として学校給食の提供を

議員 不登校児童生徒の保護者にとって、外出機会や他者との接点の減少、給食費と自宅等での昼食費の二重負担など、多くの課題がある。東京都八王子市では、不登校の子どもたちに対し給食センターでの食事提供を開始し、社会とのつながりと生活基盤の両面から支援している。尾道市でも、同様の仕組みを導入することができないか伺う。

教育長 課題が多いため導入は困難。



おのみち会
みやち ひろゆき
宮地 寛行



東尾道エリアと松永エリアに橋を架けよう！（山波南松永線）

議員 尾道市と福山市が共同で進めるはずの都市計画道路が進んでいない。東尾道に市民病院を建設するのであれば、交通渋滞対策にも大きな役割を担うこの計画道路（山波南松永線）を今のうちから福山市と協議すべきではないか。松永のメガドンキホーテから尾道方向にいけば業務用スーパーエブリイ、自動車学校、藤井川に橋が架かり、尾道浪漫珈琲、GU、ハローズと一直線に道路がつながれば、交通渋滞対策、街の賑わい、買い物・飲食といった交流人口の増加、福山市・尾道市双方にメリットが出てくるのではないか。

市長 今後の開発事業等の動向を踏まえながら、引き続き福山市と整備に向けた協議を重ねていきたい。

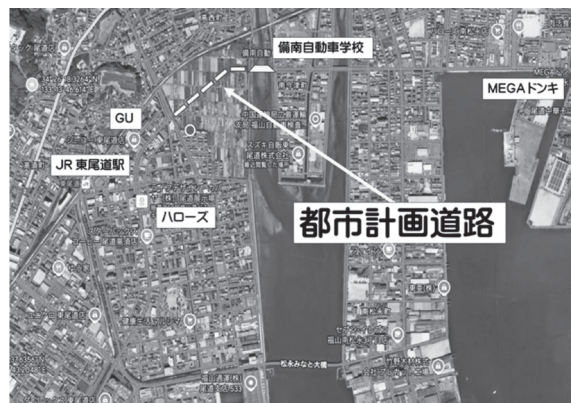
議員 平谷市長は尾道市のトップとしてこの

道路をつながたいという気持ちはあるのか。

市長 尾道市・福山市双方にとって必要な道路だと思っており、また双方にとってWinWinだと思っているので積極的に協議していきたいと思っている。

一般質問を終えて…

答弁は良いのだが、自分が高須に引っ越して13年、それから何度か質問しているのだが、よい答弁よりも結果が欲しいと願う今日この頃。





おのみち会
まきはた しんいち
巻幡 伸一



尾道の観光について

議員 尾道の観光実態はどうか。観光入込客数は何人か。観光消費額はいくらか。尾道に対する印象調査はされているか。インバウンド国別入り数と滞在日数はどうか。滞在日数・消費額が増す工夫をされているか。

市長 観光入込客は508万人、観光消費額は一人当たり5535円。観光客の本市に対する印象は、満足しているが94.5%、景観が良いが80.6%。インバウンドでは1位が台湾、2位がアメリカ、3位がフランス。トイレの洋式化、多言語観光案内板、宿泊施設整備サイクリング、マリンスポーツ体験型の充実など努めている。

海事都市おのみちについて

議員 海事都市尾道のビジョンはどうか。今治の「バリシップ2025」展を研修されて尾道に活かす内容があったか。尾道・福山・三

原市圏で連携したイベントが開催できないか。

市長 造船・舶用工業の現状把握し新燃料船等トップシェア目指す力強い展望と海事産業の将来性を感じた。福山大学海洋機械コースが新設され人材育成が始まり、備後圏域の連携が重要で、しまなみ海道エリアの連携を進め、国に伝えていく。

人口について

議員 待ったなし人口減少はどうするか。特殊出生率と15歳未満数、75歳以上数はどうか。マンパワー確保することの、まちづくり計画はどうか。移住者を増やす取組は何か。

市長 15歳未満は1万2210人で9.7%533人減、75歳以上は2万8273人で22.6%355人増加している。市内企業への就職促進は高校生を対象にガイダンス、企業説明会など実施し、移住者の取組は「人と尾道」インスタグラムの活用で転職、子育て情報など発信している。

議員 市内企業「㈱トロムソ」を例に海外進出への支援するサポート戦略はどうか。

市長 本年度より海外販路開拓支援でコンテンツ制作費、通訳費を追加している。



公明党
むらかみ くみ
村上 久美



聴覚補助器等の積極的な活用への支援

議員 高齢者が聴覚補助器を適切に選択できる環境を整備すべきと考えるが。

市長 高齢者にやさしいお店の情報誌である「ねこのて手帳」の中で、補聴器など相談できるお店を掲載している。

議員 購入費助成制度の創設をしてはどうか。

市長 購入費用の助成制度の創設についても研究していく。

誰もが安心して搾乳できる環境づくり

議員 授乳室でも搾乳しやすい工夫や職場における搾乳環境づくりに取り組むべきだと考えるが、どうか。

市長 授乳室で搾乳することは可能、速やかに表示をするなど周知を図っていく。未設置の施設では、空きスペース等をご案内するな

どできる限り対応してまいりたい。

議員 まずは、公共施設から授乳室の設置を進め、設置場所の周知も行っていただきたい。

おむつのサブスクと処理

議員 保護者・保育士の負担軽減のために、定額制によりおむつ使い放題になるサービスを利用してはどうか。

市長 利用者の声を聞きながら研究していく。

議員 使用済みおむつを活用したシステムの導入を考えてはどうか。

市長 現段階では考えてないが、一般廃棄物処理基本計画の策定を進める中で研究してまいりたい。

5歳児健診について

議員 5歳児相談から、全員が対象となる発達や発達障害が見つかりやすい5歳児健診に移行してはどうか。

市長 最善の方法を研究していきたい。



公明党
おかむら たかし
岡村 隆



「まちかどフードパントリー尾道」実施

議員 反響、見えてきた課題はあるか。

市長 利用者も増え好評。利用が想定を超えており、運営体制の強化を図る必要が生じ、今年度の新規開設は慎重に検討する。



視覚に障がいがある方への支援

議員 本市の印刷物や通知書等への「音声コード」の導入は急務ではないか。

市長 今後研究していく。

議員 「日常生活用具」の支援状況は。

市長 活字文書読み上げ装置、点字タイプライター、点字図書、点字器、ラジオ、音声体重計、体温計、血圧計、情報通信支援用具など。要望に応じて追加している。

「医療事故調査制度」の適正な運用を

議員 市民病院での手続きの流れはどうか。

病院事業管理者 まずご遺族に状況説明→「日本医療安全調査機構」（以下「調査機構」という。）に医療事故発生の報告→病院内に調査委員会（内部委員及び外部委員により構成）を設置し調査→調査結果を「調査機構」に報告→ご遺族への説明。

議員 過去5年間に調査は何例あるか。また調査期間は。

病院事業管理者 件数についてはお答えを差し控える。審理期間は約1年から2年である。

議員 いっこうに病院から詳しい説明がなされない場合、市民病院のどこの窓口相談すればよいのか。

病院事業管理者 医療安全管理室。もしくは「調査機構」まで。

一般質問を終えて…

病院からの詳細な説明無しに、遺族は、大切な家族の予期しない死亡を受け入れることはできない。制度の適正な運用と周知は必須である。



平成会
にのみや ひとし
二宮 仁



SNSの偽情報・誤情報への対策

議員 極端なダイエットで15歳の娘さんを亡くした母親の思いが報道にあった。特殊詐欺も横行している。世代ごとにどのような教育・啓発を行っているか。日本新聞協会も声明を発表している。選挙への影響、対策は。中学校の図書館で新聞を読むことはできるか。

市長 選挙結果への影響は懸念されており、選挙管理委員会では国などの対応動向を注視していると聞く。

教育長 小学校、中学校、それぞれ段階別に学習している。中学校ではタブレット端末の情報モラル教材も使う。生涯学習では啓発講演会を毎年開催している。新聞は一部の指定の中学校図書館で読める。

高校生の英語力を生かしたおもてなし

議員 広島駅の改札を出ると高校生が英語の

ボランティアガイドをやっていた。高校生の英語力は外国人観光客のおもてなしに生かすことができると考える。尾道市に安全に外国人観光客と高校生の接点を設ける取組、構想はあるか。

市長 学校のALT・留学生との交流、クルーズ船寄港のおもてなしなどはある。本市主催イベントへの参加も可能で、学校からの相談には対応を検討したい。

住宅密集地、ごみ収集に関連した火災

議員 住宅密集地の火事、また、ごみ収集に関連した火災にどんな対策をとっているか。リチウムイオン電池の構造上のリスクを解説するサイトがあった。また名古屋市は動画で解説している。ネットを活用した広報を充実させる考えはないか。

市長 火災警報器の設置、防火水利の計画的整備、老朽空き家の解体撤去の補助制度に建物の不燃化、難燃化の促進に努めている。収集は市民の協力が不可欠で広報、説明会で周知、啓発に努めている。多様な広報に努めたい。



新誠会
しんち たかふみ
新地 貴史



この6月議会では2年前にも質問したしまなみ海道の料金の助成の件について

議員 執行額5万円の狭い範囲の小児救急医療交通費助成事業の拡大や、紹介状をお持ちの場合に交通費の一部の助成をしてはどうか。

市長 紹介状を持参しての交通費助成事業は、令和6年度から小児救急医療交通費助成事業の取組を行っており、まずは周知がさらに進むように取り組んでまいりたい。

デジタルリテラシー・ネットリテラシーの対策について

議員 尾道市でのリテラシーの対策や取り扱っている情報の漏洩や問題が起きた場合のワークフローは策定しているか？
市長のSNSアカウントの乗っ取りの経緯、それに対する対策、2次被害・3次被害はあるか？

市長

本市が保有している個人情報や機密情報などの情報資産の取扱いについては、尾道市情報セキュリティポリシーを策定し、情報の管理を職員に徹底し、各課の実行状況について定期的な監査も行っている。

SNSのアカウントが乗っ取られた経緯についてはわかっていない。多くの皆様にフォローしていただいているので、被害にあわれた方がおられる可能性もあると憂慮している。

一般質問を終えて…

しまなみ海道通行料の件では全体の4%しか使われてない施策をそのままにしている。市長のSNSアカウントの乗っ取りの事件があり、市長本人のネットリテラシー向上が望まれる。



新誠会
うねもと しげる
宇根本 茂



平谷市政の5期20年の成果と残り2年の取組について

議員 尾道市の現状の課題と未来への展望について

市長 庁舎整備・学校の耐震改修などの安心安全なまちづくりや、サイクリングのまちづくり・3つの日本遺産など地域資源を活かした取組を行ってきた。本市の将来は、市民の健康と暮らしを守るうえで尾道市民病院の建て替えによる医療提供体制の充実、ごみ処理施設の在り方などの課題に取り組み、新たな市民総合計画の策定において、市民と共に尾道の未来の姿を展望していく。

議員 財政が厳しく、市民のしまなみ海道の通行料の負担や市民生活（町内会への補助等）の負担を、本市独自の体験型の観光整備や自転車のレンタル料の値上げなどを行い、観光消費を促進し、その収益を市民に還元してはどうか。

市長

しまなみ海道通行料金制度は、料金水準が令和16年3月末まで10年間の継続となるなどの対策を講じている。本市独自の福祉施策としては、「障害者通所交通費助成事業」など通院、通所の移動に係る負担軽減も取り組んでいる。

地域資源を活用した滞在型観光の取組を進め、観光消費の拡大につなげるためにも、ご提案いただいた財政確保の視点を持ちつつ、持続可能な取組となるよう努めていく。

一般質問を終えて…

財政が厳しい場合、事業の見直しは必要。財政再建には、観光消費は不可欠。若者の流出を防ぐには、若者が楽しくなる居場所の提供が必須。何より市民に寄り添う政策を望む。



日本共産党
うおたに さとる
魚谷 悟



市民の暮らしに対する認識について

議員 給料が物価上昇に追いつかず、年金も増えない。自営業者も利益が悪化し、厳しい状況にあるのでは。公共下水道料の値上げは見直したらどうか。

市長 賃金が物価上昇に追いつかず、消費支出の抑制などの影響が出ている。下水道使用料の値上げは審議会の答申に沿って判断する。

教育問題について

議員 利用者が増えた尾道みなと小学校北側の三差路の安全対策はどのように。市の「スポーツ振興計画」に沿って公民館へ卓球台を置いてはどうか。

教育長 安全対策は交差点の着色や自転車通学の安全指導を行っている。信号機の設置は難しい。

病院事業について

議員 市民病院の収支の状況がどうなったから、新病院の予算を提案するのか。現在は、J A尾道総合病院と合意を得るための協議の段階か。

病院事業管理者 今年度、経営の安定化に努めているので、現時点では示せない。J A尾道総合病院と公立みつぎ総合病院との分担や連携に向けて協議中である。

町内会・自治会への補助金について

議員 合併後20年経つが、尾道地域と瀬戸田地域では4倍以上の格差がある。目標年限を決めて取り組んでは。

市長 町内会は地域で形態や活動が異なる。補助金の是正は、現時点で具体的な内容や時期は示せない。

人口減少に対する認識と対策について

議員 実人口が減っているが、「総合戦略」との関係でどう分析しているか。

市長 若い世代の転出超過が進んでいると考えている。総合戦略の各種施策に全力で取り組む。

ピックアップ議案 —この議案ってどんなこと??—

※1万円未満切捨

議案第76号

令和7年度尾道市一般会計補正予算(第1号) 主なもの

- 申浜漁港海岸保全施設整備事業 …… 2,400万円
- 水軍城関係施設解体撤去等委託料 …… 1,500万円
- 旧因島学校給食共同調理場解体撤去工事 …… 2,700万円

議案第83号

財産の取得について

- AVM(車両運用システム)設備の更新 …… 1億9,690万円
- ※高機能消防指令センターの機能の一つであるAVM(車両運用システム)設備をLTEサービスに対応した機器に更新するものです。

議案第90号

令和7年度尾道市一般会計補正予算(第2号) 主なもの

- LPガス使用事業所支援事業 …… 1,628万円